

星の夢百聞

第241号

発行日 2026年 3月 1日
発行 株式会社 おいらーく
札幌市東区東苗穂9条3丁目1-40
発行人 星野 二三江



配食事業部 厨房革命 行動開始!

おいらーく
厨房革命とは…

各現場ですべての食材を調理していた体制から、
それぞれの事業所にあった体制に切り替えていく試みです!

まず、第一段として CoCo 元町の厨房をセントラル化して何か所かの施設に食材を供給します。CoCo 元町では、①食材を超急速冷凍して各食材を施設の冷凍庫に保管。それを各施設では、温めて作り立ての美味しさがそのまま蘇ります。②長期保存も可能なので、食品の破棄削減や職員のお休み環境の改善にもつながります。③利用者様別の食事形態や禁食等にも対応できることとなります。

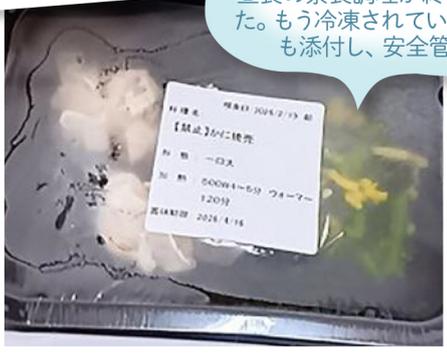
実際にお食事の提供を始めると、おかずが温かいのありがたい。職員からは、食事の後始末がとても楽になり業務負担が減ったと喜ばれております。これから、拠点事業所を増やし、さらなる改革を進めていく予定です。利用者様にとっては食事は、日々の楽しみの中心でもあります。色々なご意見をいただけたら幸いです。(編集員)



この写真はラップ前ですが、一気に冷凍庫へGo!



パートの皆さんです! 切り込みから盛り付けに業務内容変更もチームワーク良し!



10時半の段階で19日の朝食、昼食の禁食調理が終わっていました。もう冷凍されています。ラベルも添付し、安全管理もOK



就業前の一コマ。緊張感ゼロです。(笑)

試行錯誤しながら作っていきます! 美味しかったらたくさん褒めてください! 味や形状のアドバイスもよろしくお願いします。

昨年6月に会った新しい食事の形! これなら「おいらーくで食事を作り続けることができる!」と、急ピッチで準備を始め、配食事業部の面々が4度に渡って道外研修し、仕組みを学び、現場も運用しながら、工場開始の4日前にやっと常勤が揃うバタバタの人事の元、2月16日に運用が開始されました!

初日はもっと混乱するのかもしれないと思いましたが、みなさん初めての作業とは思えない落ち着き様で、大きなトラブルもなく初日を終わりました! まずは大きな大きな一歩です! 引き続き応援よろしくお願いします。(小林)

A・T様 / 85歳

1月27日 午前0時2分 COCO元町にてご逝去されました。

生前のA・T様は平成28年12月1日～サテライトえくぼを利用されており、令和元年5月自排尿なく、バルーンカテーテル留置になり医療的ケアが必要にて令和元年6月6日よりCOCO元町入居と同時に看護小規模多機能型居宅事業所えくぼ元町利用開始となりました。

A・T様は歌をうたう事がとても大好きで通いに来た時にレクリエーションでカラオケをする時にはマイクを離さず、独り占めして大きな声で自慢の歌唱力を存分に発揮されておりました。※他の利用者がうたう時にはマイク以上の声量で声をかき消してしまっていたのは内緒ですが…歌をうたう事はもちろんですがそれ以上に『冬のソナタ』のペ・ヨンジュンが大好きでした。自室にはペ・ヨンジュンの写真を飾り、通いにきたら必ず『冬のソナタ』を1話～最終話まで集中して観ておりました。

そんなA・T様にペ・ヨンジュンのお面を作り、職員が付けヨン様になりきって『T、サランへヨ』というとゲラゲラと涙を流しながら喜んでくれたことは懐かしい思い出です。お風呂に入らないという時も『ヨン様に嫌われちゃうよ?』と言うと「入る」とヨン様にはメロメロでヨン様には素直な可愛いA・T様でした。

そんな日々を送っていましたが令和7年3月11日CT検査でS状結腸癌が判明し、勤医協中央病院へ5月に入院しS状結腸の切除術施行。その後は、手術の拒否が強く7月11日、看取りとして訪問診療へと切り替わりました。オペをしない事になり、本人の中で気持ちの変化があったのか飲水量も徐々に増え、以前のようにカラオケや『冬のソナタ』を見る生活に戻っていきました。令和8年1月に入り再度飲水量の低下と癌が悪さをしているのか排便が無い状態が続くようになりました。状況を息子様に報告し、孫様を連れて頻りにA・T様に会いに来てくれていました。看取りに切り替わった時点で息子様も覚悟はされていましたが、一度元気になったA・T様をみていただけに、『元気になったからこのまま元気な母で居てくれたらと思っていただけですけどね。さすがに今回は厳しいですね。』と。眠る時間が増えてきても声をかけると目を開け、名前を呼ぶと精一杯のピースをしてまたすぐ寝てしまうA・T様。逝去される前日も次男様が家族で来られ、声をかけながら家族の時間を過ごされていましたが夜間静かに眠るように旅立たれました。訪問診療で携わって頂いた山梨医師・看護師の皆様ありがとうございます。職員一同、心よりご冥福をお祈り申し上げます。(えくぼ元町：山本所長)

お看取り報告

新たな企画として、おいらーく各施設で入居者様がご逝去されたとき、管理者が医療・介護・看護に関わった方々にお看取りの報告をするのですが、その文面から施設での生活の様子やその方の人となり、またご家族様の思いや職員の関わりがとて強く伝わり、ご供養になると思いかから今回の報告とさせていただきます。尚、この掲載に関しては施設管理者からご家族様へのご了承をいただいております。(編集員)

星の夢百聞
復刻コーナー

「何もしたくない」という方へのアプローチ

星の夢復刻コーナー企画として、広報誌『星の夢百聞』の振り返りを行っている中で、とても素晴らしい発表等があり、是非、再掲載したい投稿です。編集員

てんやわんや本町では、2週間に1度、業務を終えたスタッフが集まりミーティングを行っています。対応が難しいケースへの具体的なアプローチの方法を考えることも度々あり、職員の知識や経験を研鑽する非常に良い場となっております。

今回は、先日のミーティングでアプローチ方法を検討したTさんをご紹介します。Tさんは一度てんやわんや本町に体験に来られたのですが、その時は、「何もしたくない」と我々職員の声掛けにもあまり応じて下さらず、結局、何もせず、帰られてしまいました。家族の勧めもあり、利用される事になったのですが、我々スタッフからの活動の提案にも今一つ乗り気ではなく、ぼんやりと座っている事が多くなっていました。そこでスタッフミーティングで話し合いを行いました。「何かここに来る楽しみを見つけてもらえないだろうか」「個別に活動を提供する内容を新たに構築出来ないだろうか」Tさんのニーズを把握し、「好きな事」「興味がある事」を中心に、個別に活動を提供する事と、既存のプログラムの有効活用をして行く事になりました。

デイサービスに到着すると、その日どの様に過ごすかをご自分で選んで頂き、予定ボードにプログラムの札を貼っていただきます。ご利用者様の個別性、自己選択、自己決定の機会を意図的に行って頂く為です。Tさんにこの朝の予定立てを、職員が付き添いの元、立位で行って頂くよう声掛けをしました。そして、下肢筋力強化の為、平行棒を使った歩行訓練を提案させて頂きました。すると、「目的があると、頑張れる」「ゴールを示してくれると頑張れる」と積極的に職員の声掛けに応じて頂ける様になり、この歩行訓練の他にも、マシーンを使った運動・段差昇降にも意欲的に取り組まれる様になりました。又、徐々に職員とも打ち解け、色々な話を聞かせて頂ける様になり、我々スタッフは、そこで初めてTさんは、「何もしたくない」のではなく自分の思いをストレートに表す事があまり出来ない、非常にシャイな方なのだとな気付く事が出来ました。今では、身体を動かすだけでは無く、おいらーく認定の漢字検定のプリント、事務仕事にも熱心に取り組まれています。(てんやわんや本町：介護員 水谷)



節分特集!

おにほーそと!ふくほーうち!

2026

生きがいサロン東雁来

2月3日と言えば節分の日ですね。生きがいサロン東雁来でも豆まきを行いました。職員が鬼に扮装した姿は圧倒的ではないですか?鬼が出現した時の利用者様方は、おー!と声が出たり、鬼だー!と笑顔になったりと見ている私も嬉しくなりました。一人ずつ落花生をお配りし、一斉に投げられると、鬼が一瞬で退散されても困るので1人ずつ、鬼退治。

鬼退治の合言葉はもちろん「鬼は外、福は内」ですよ。職員と一緒に「鬼は外ー!福は内ー!」と普段よりも大きな声が聞こえました。豆を投げる時もノリノリでぶつける方、可哀想と優しくぶつける方、皆さんの性格が垣間見えた瞬間でした。ぶつける方もそれを見ている方も笑顔で満載。そんな沢山の笑顔と笑い声で鬼も泣いて退散してくれたのでは無いでしょうか。

みんなで鬼退治した後のお楽しみは美味しいおやつ。普段はあまりない和菓子、節分イベント用の特別使用で皆さんそこでも美味しいとニコニコ。笑顔が溢れる豆まきでした。
(西尾)



みんなで青鬼退治!



鬼は〜外〜! 福は〜うち〜!

うらら伏古

2月8日に節分を行いました。鬼の衣装を着ている職員を発見した男性の入居者様が「俺も鬼になる」と笑いながら衣装の入っていた段ボールをゴソゴソ：黄色鬼の衣装を手に取りノリノリで装着!!!左の写真はその時の一枚です。

その後は他の入居者様と共にカッパを被ったまま鬼へアタック!!!皆様、「鬼は外!!!」のみで一心不乱にボールを投げ、少し投げると思いついたかのように「福は内を忘れていたわ」と笑顔で大声で掛け声を出されました。

無事に鬼が去った後は甘納豆を食され「たまに食べるとおいしくてとまらなくなるわよね、年の数食べたら駄目かしら」と冗談を言いながら談笑されておりました。これでうらら伏古から鬼は逃げ、福しか無くなりました。(伊藤)



うららの鬼、退治完了!



ハハハハの利用者様!



3色の鬼が到来!

グループホーム夢

2月3日節分を行いました!なぜか、カゴを持って現れた赤鬼:「鬼は外!!!」のはずが、玉入れで鬼退治!(笑)とても可愛らしい鬼なのですが、中には「怖い、怖い!」と話す方もおり、やる気みなぎる鬼さん。

ですが!カゴを見るとみなさん、素直にカゴにめがけて玉(新聞を丸めて鬼にぶつけるために作った豆)を投げ入れる:カゴに受けた鬼は「ナイス!!!」と称賛:鬼は無傷で遊んで帰りましたとき:(笑)

今年の豆まきは例年とは違ったものになりましたが、豆まき改め玉入れはみなさん、とても喜んだそうです。

きびだんごと歳の数だけの落花生を剥いて食べ:ほんわかした雰囲気豆まきでした!無病息災を願い:来年もみんなでやるぞ〜!(中島)

今年は玉入れ方式で〜す!



迫力あるお面の鬼がやってきました…!



いっぱい入りました!

節分特集! 2026

おにはーそと!ふくはーうち!

せんり

今年も節分の季節を迎え、当施設では恒例の節分行事を開催いたしました。会場には「鬼は外、福は内」の掛け声が響き、季節の行事を楽しみにされていたご入居者の皆さまの笑顔があふれていました。今年の鬼役は、気合い十分の職員たち。赤鬼と青鬼が登場すると、最初は驚いた表情も見られましたが、すぐに笑い声が広がり、和やかな雰囲気になりました。手にしていただいたのは、新聞紙を丸めて作った特製の豆です。「それっ!」という元気な声とともに豆が投げられ、鬼たちは大げさに逃げ回り、会場は大盛り上がりとなりました。中には鬼から棍棒を奪い取り、見事に鬼退治をされる頼もしい場面もあり、周囲から拍手が起る一幕も。無事に鬼退治が終わった後は、「もう悪さしないでね」と優しく鬼の頭を撫で、最後は仲良く記念撮影を行いました。

笑顔と笑い声に包まれた節分行事は、皆さまにとって季節を感じる大切なひとときとなりました。今年も多くの福が訪れることを願いながら、心温まる一日となりました。(山本)

たくましく退治する入居者さん達!

入居者さんモノリノリで鬼になっていました!



えくぼ東雁来

えくぼ東雁来の節分は一日遅れの2月4日に開催いたしました。会場壁面には飾り付けと今年の恵方の案内、そして恵方である南南東の方向に「南南東はこちらです」と掲示してイベントスタートです。会場に集まった利用者さん。今年はいくぼ利用者様だけでなく、住宅の皆様も参加していただき、施設全員で楽しみました。各テーブルに落花生を用意し、鬼を待ち受けると、そこに少々やせ型の赤鬼が登場! 「鬼はー外!」の掛け声とともに落花生を鬼めがけて投げつけます! 今年の赤鬼はやや迫力不足? だったせいか怖がる方より喜ぶ方の方が多く、笑い声に包まれておりました。

その後会場の皆さんにはおやつが振舞われました。DTの観点から選択ができるよう飲み物は甘酒かおしるこ、おやつは蒸しパンかプリンを選べるよう配慮。(ちなみにおしるこ、甘酒は所長お手製。前日から用意しておりました)。蒸しパンは職員お手製。大変好評で皆さん喜んでおられました。

残念ながら会場に来られなかった利用者さんには、おやつとともに赤鬼が突撃訪問! ここでも赤鬼は怖がられず喜ばれ? どこに行っても抱き着かれておりました!

こうして節分行事は無事故もなく終えられました。大雪に見舞われ外出もままならない時期に、季節を感じられる行事が行え、職員一同喜んでおります。利用者様にとって福多き一年でありますように。(鎌田)

鬼が来てもあまり怖がられず笑い声が...



なぜか抱きつかれる赤鬼でした!



状況報告!

小規模多機能型
居宅介護事業所

えくぼ

引越し準備

外観

1階小規模
多機能スペース

CoCo伏古居室



着々と工事が進んでいます!

この度、小規模多機能型居宅介護事業所えくぼは、令和8年4月より新たな場所へ移転する運びとなりました。新しい拠点となるのは、伏古8条3丁目に位置する旧伏古レディーススクリーニクの建物です。長年地域に親しまれてきた建物を活用しつつ、現在は利用者の皆さまがより快適に過ごせるよう大規模な改修工事を進めており、新たなスタートに向けて着々と準備が整いつつあります。

移転先の周辺環境は、日々の暮らしに寄り添う魅力にあふれています。近隣には緑豊かな公園があり、四季折々の自然を感じながら散策を楽しむことができます。また、「宮の森・北24条通り」にもほど近く、交通アクセスが良好であることに加え、商店街と住宅街が調和した落ち着いた雰囲気のある地域性も大きな特徴です。通り沿いにはコンビニエンスストアやスーパーが立ち並び、生活必需品のほとんどが身近で揃う利便性の高い環境が整っています。さらに、周辺には複数の医療機関や飲食店も点在しており、日常生活を送るうえで非常に恵まれた地域といえます。

現在は、入居される方やサービスをご利用される方々が、より快適で安心できる生活を送れるよう、建物内部の内装についても細部まで検討を重ねている段階です。居心地の良さや動線のわかりやすさ、安全性など、日々の暮らしに直結する要素を丁寧に見直しながら、皆さまにとって過ごしやすい空間づくりを目指しています。新しい環境がどのような形で完成していくのか、職員一同大きな期待と楽しみを抱いております。

浴室



2階食堂



どんな食堂になるのが楽しみですね!

また、新しい建物内には「住宅型有料老人ホームCoCo伏古」が併設される予定です。CoCo伏古は29床を備え、居室ごとに広さや階層が異なるものの、すべての部屋にエアコンを完備しています。近年の気候変動による気温上昇や寒暖差を踏まえ、利用者の皆さまが一年を通して快適に過ごせるよう、設備面にも十分に配慮したつくりとなっています。小規模多機能型居宅介護事業所と住宅型有料老人ホームが同一建物内に併設されることで、より柔軟で切れ目のない支援体制を構築できる点も大きな魅力です。

今回の移転は、利用者の皆さまにとってより安心で快適な環境を提供するための大きな一歩です。地域の特性を活かしながら、これまで以上に寄り添ったサービスを提供できるよう、職員一同、心を込めて準備を進めてまいります。新しい「えくぼ」「CoCo伏古」が、皆さまにとってより身近で頼れる存在となるよう努めてまいりますので、今後とも変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。(佐々木)

冬の行事報告

〈ココ輝楽〉

キラク雪あかりの路 2026

今年で4回目。小樽では有名な雪あかりを「キラク雪あかりの路2026」と称し、2月14日(土)夕刻より行いました。今年の小樽雪あかりの路は2月7日~14日までの期間で開催され、市民による手作りでの1999年から続けてきて今年で28回目の開催になるそうです。期間中はぜひに雪あかりの路と称し、銭函駅にも雪像が作られ、豊足神社、町のあちこちの飲食店の前ではあかりがともされます。個人的には銭函駅の雪像が毎年違い、今年も何やら登場し、何でしょう??と想像していたら「パンダ」とわかりました!!

公式ロウソクも職人の手で1本1本手づくりで製造された物が8個入り600円でコンビニでも購入できます。キラクで使用するロウソクは入居者様の娘様で毎年町内会(札幌市在住)で雪あかりを開催されている方から2パック頂いた物を使用しました。当日はプラスの気温で制作する環境としてはとてもよかったです。ここ数年で一番お天気に恵まれ、風に吹かれることなく、ロウソクのあかりも消える事はありませんでした。まずは土台作りから始めました。作成中も2階から入居者さんが窓越し見ており、落ち着かない様子でした。土曜日という事もあり面会にいらっしやった家族からも「何を作っているのですか?大変ですねー」とお声掛けもありました。

点灯は16時半すぎより少しずつ点灯。ディサービスの送迎の方も「きれいですねー」と声掛けして頂き、だんだん暗くなり灯りが浮き上がり、とてもきれいでした。入居者様に告知しておりましたので、夕食前から窓越しにご覧になる方も多数おり、口々に「きれいだねー」と。車イスの方も窓際まで行き、ご自分で立ち上がり「あらーきれいだねー!!」と数人でとても盛り上がりおりました。普段、お食事もお部屋で摂られている方が娘さんの声掛けで出てこられ、窓越しに車イスから立ち上がり、ご覧になり「あらーきれいだねー」と。入居者様からお褒めのお言葉を頂き、喜ばれた表情を見るととてもうれしかったです。キラク職員、銭函デイトレセンター今田所長ご協力ありがとうございました。(金森)



職員の力作!小さな雪だるまもてっぺんにのせてみました。小樽の冬らしい幻想的な夜になりました。

〈てんやわんや新道〉

「変わり種パン」づくり

てんやわんや新道では大好評の「変わり種ピザ」に続いて2月から新しい行事の職員考案の「変わり種パン」をはじめました!今回の変わり種パンは「オニオン唐揚げパン」でした!!

変わり種パンは1週間限定の行事ですが何回も作られる方もいらっしやるくらいに大人気の変わり種パンとなりました!

てんやわんや新道ではこれからも食に関する取り組みをみなさんにお届けしていきたいと考えています!来月は変わり種ピザを予定しています。変わり種ピザは昨年から続いていて利用者さんからも「来月のピザは何やるの?」と聞かれるくらいに馴染みの行事となっているので、これからもみなさんにおいしさと楽しさをお届けできるようにたくさん行事を考えていきたいと思えます!(遠藤)



「オニオン唐揚げパン」ボリュームで美味しそうです!





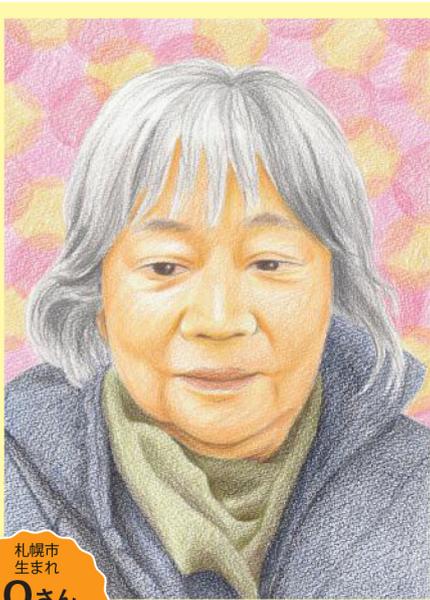
人間万事塞翁が馬

0様は昭和41年11月12日生まれの現在59歳。札幌市で生まれ、1歳半で小樽市へ移り住まれました。高校時代は茶道に親しみ、その影響もあってか、今も言葉遣いはふんわりと優しく、周囲の心を和ませてくださいます。

結婚後は二人の娘様を授かり、子育てに励みながら、30代は長崎屋の洋服店で勤務。40代からは専業主婦としてご家庭を支えて来られました。46歳の時、脳出血を発症し。左上下肢に麻痺が残りました。それまで認知症のお姑様の介護を一人で担い、ご主人のお酒による浪費癖など、多くの不安を抱えておられました。高額な請求書が届くたびに心を痛め、やがて自宅を手放すという苦渋の決断を余儀なくされました。誰にも相談できず、すべてを一人で背負っていた中での発症でした。

その後、ご主人が病に倒れ他界。「どうして私だけ」と思い悩む日々もあったそうです。やがて長女様が結婚し、新たな生活を歩みはじめられました。次女様の緊急入院も重なり、一人での生活は難しい状況となりました。熟慮の末、現在の住宅へ入居されました。

環境の変化は決して望んだものではなかったかもしれませんが、それでも0様は少しずつ前を向いて歩みを進めておられます。デイサービスでは、



似顔絵作：松田 郁美

札幌市生まれ
0さん
2026.2月現在
59歳

職員の明るさに元気をもらい、好きなアーティストの曲をユーチューブで聴く時間が心を和らげるひと時となっています。またパン作りの時間も大切にされており、「このパンは美味しいから食べるのが楽しみ」と笑顔で話してくださる姿が印象的です。「毎週デイが楽しみなの」穏やかに話されるその表情から充実した時間を過ごされていることが伝わってきます。

以前、同じ曜日に通っていたご利用者様のひたむきな姿に励まされ、今では歩行訓練にも真剣に取り組みられています。曜日が変わり顔を合わせる機会は減っても、互い頑張りや気にかけて合う存在です。

そんな0様の現在の夢は、再び自立し一人で暮らす事。その一歩を、今日も大切に積み重ねておられます。その前向きな歩みに寄り添いながら、私たち職員一同はこれからも力強く支えていきたいと思っております。
(聞き取り：銭函デイトレ 東)

好きな曲は：

「上を向いて歩こう」

坂本九

「当時、辛い日々を送っていた際、テレビで流れていたこの曲を聴いて、歌詞の内容がご自身の心に響き、涙が止まらなかつたとのこと、生きる支えになり、諦めずに頑張ろうと前向きにさせてくれた曲。」

デイサービスセンター てんやわんや北31条



新ゆーめ通貨 紹介!



カラフルで色々なイラストが入った楽しい通貨になりました!

てんやわんや北31条では、独自のゆーめを作成し、ご利用者様に使用していただいております。元々カジノを行っていただく「カジノをやろう」となった時に使って楽しいものにしたと職員間で話が出て、相談員の佐藤さんを中心に作成しました。例えば、50ゆーめだと、北海道の有名なドラマ：北の国から。北の国からといえば、田中邦衛さん裏も北の国からでルルルルで狐呼んでたよね!できつねに決定。と作成する時にも連想ゲームのように、作りました。いざご利用者様に使用していただくときも連想ゲームを楽しんだとか、いないとか：(笑)

いざカジノを始めてみると、高額紙幣が無いと大変!となり、高額紙幣も作成しています。ルーレットやコインホール、ストラックアウト等でゆーめを稼ぎ、手あんまや水上あんま、コーヒーを飲むために使用していただいております。(遠藤)



研修会などで学んだ
有益な情報をご紹介します!

朋ちゃんコラム

第19回

今年の札幌の冬は、いつもより雪が多く苦労しました。一月には12時間で40センチ近い雪が降り、ドカ雪となりました。これは、日本海側に強い冬型の気圧配置が続いたためで、雪雲が北海道の上空に何度も流れ込んだからだと思います。通常の雪より湿って重い雪が積もりやすく、交通や日常生活に大きな影響が出て、デイサービスも何度も縮小営業を余儀なくされ、バスも運休となり、バスや車を諦めて、歩いて出勤してくれただけの方もたくさんいました。この冬の降雪には、海の温度や偏西風の流れも関係していると言われています。海水温がやや高い年は、寒気と湿った空気がぶつかりやすく、雪が多くなることがあるそうです。これも温暖化の影響と思うと気が滅入ってしまいますね。

先日のドカ雪の日に、どうしても出かけなければならず、車で出発したものの、二つ目の角でハンドルが利かなくなり、あつという間にタイヤが埋まり、にっちもさっちも動かなくなりました。通りかかった近所の人や、雪かき中の方々が「手伝おうか」と声をかけてくれ、雪だらけになりながら、見ず知らずの人同士、声を掛け合い、雪をかき分け、車を押ししてくれました。ハンドル少し右にとか、優しくアクセル踏んでみましょうとか声をかけてくれて、ついに車が動いた瞬間は、やれやれ良かったと笑顔で送り出してくれました。寒い日でしたが人の優しさにほっこり温かくなりました。

今年はこちらでそんな風景がありましたね。雪かきの大変さはありますが、今日も降るね、道路の雪飛ばしておくね、など共感しながら助け合えるのも、(雪の投げ捨て場の戦いもありますが...) 雪国ならではの景色でもあります。誰かを助けるちよつとした優しさが、気持ちを少しあたたくしてくれそうです。

日々の雪かきでやれ疲れたと、たくさん運動したつもりになって、コタツでヌクヌク食べていたら補給が過ぎました。明るい春に向かって運動再開せねばー。前向きにー★

娘作の斬新な雪だるま。か、小さな雪山になりました。春はもうすぐです。



おじさんの『おいらーくの素敵な人々』から

ドラムす子さんの代打!



今回、好評である「ドラムす子でパチ当たり人間のよもやま話」の代替えとして、おいらーくのホームページに掲載していたおじさんの『おいらーくの素敵な人々』から記事を抜粋して掲載します!

2019.7.11
佐渡の旅

おいらーくの友人二人と佐渡島に行ってきました! まず、この旅で最高旅インから、なんと佐渡の自然の中であらたにゆまれ育った野生のトキデス! 友人Mさんが見つけた。車で移動中のすぐそばを飛び立ったの。佐渡が、三人共動転してなかなかシャッターがうまく押せません。いつのまにかどんどん離れていきます! 友人Mさんは、自分で自分を叱りつけています。「なんでいつも焦るところいうへまをするのか? 自分で自分が情けない」と無然として嘆き、おじさんも「左に同じ」と小声で追随しました。

もちろん佐渡の旅では、美味しいものをたくさん食べてきました。初日の昼間は、レンタカー屋さんおすすめのお店、長三郎さんで地元のネタ鮮度抜群のお寿司とあごだしでスープに透明感のあるラーメンを。このラーメン、おじさんにとっては少し薄味だと思ったのですが友人MさんとOさんは、絶賛していました! つぎの日夕食は、佐渡の夕日を見ながらコテージでお刺身とお肉でバーベキュー! サザエは、コリコリと歯ごたえよく、トレトレのクロダイも身がプリプリです。

最後の日の昼食、これも 今回のハイライト七右衛門のぶっかけ蕎麦。十割蕎麦なのに、ポソポソ感がまったくありません! こしも効いてエツジの良さも感じられます。また付け合わせの瓜の漬物も少し濃い目の甘口で、薄めであきのこない汁との相性も計算つくさされているようです。

細身の友人Oさんは、残したら友人Mさんに差し上げるイメージで一人三枚ずつ注文したので3人がメッチャ美味しくて3人ともペロリ。よほど口惜しいのか、友人Mさんはあらためて追加1枚をおもとめ。1枚550円のもののお蕎麦で2000年の歴史を刻んできたというのですから恐れ入りの鬼子母神でした! (松田)

佐渡の海の幸を堪能!

美味しいもの沢山満喫!



佐渡の海に沈む綺麗な夕日!

経営方針

『高齢者も障害者も住み慣れた地域で、安心して暮らせる地域づくり』を目指し、つねに『ご利用者様の立場にたった総合的な介護・福祉企業』のあるべき姿を探求し続けるオンリーワン企業を目指します。